

令和4年(2022年)9月11日(日曜日)

三島そばの種まきに取り組む参加者 三島市元山中



NPO法人グラウンドワーク三島は10日、地元ブランド化を目指して栽培を続ける「三島そば」の種まきを三島市元山中の遊休農地を活用した畑で行った。

三島そば種まき 遊休農地に文化

かつて宿場町として栄えた三島のそば文化を盛り上げようと、19年前に耕作放棄地だった畑でそばづくりに乗り出した。三島そばは豊かな香りと甘みが特長で、今年は一平方メートルの畑でそばの実を栽培する。種まきでは同NPO職員や一般のボランティアら12人がくわで畝に溝を掘

ブランド化目指す

り、種をまいて丁寧に土をかぶせる作業を行った。11月上旬に収穫し、年越しそばとして販売する予定。10月ごろには畑一面に広がるそばの白い花と富士山を望む高台の景色が組み合わさり、絶好の撮影スポットとしても人気を集める。
(三島支局・金野真仁)